

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2021-12400(P2021-12400A)
【公開日】令和3年2月4日(2021.2.4)
【年通号数】公開・登録公報2021-005
【出願番号】特願2020-184947(P2020-184947)
【国際特許分類】

G 1 0 H 1/32 (2006.01)

【F I】

G 1 0 H 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月27日(2021.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明の一態様は、複数の鍵を有する鍵盤と、前記複数の鍵の操作面を露出するようにして前記鍵盤を収納するとともに、前記複数の鍵の後端側で前記操作面よりも高い位置にスピーカの音を前方に放音するための放音孔が設けられている前面部を有するケースと、を備え、前記ケースは、前記前面部に連結するとともに前記前面部の後方に延びる第1補強リブと、前記第1補強リブと連結するとともに前記複数の鍵の配列方向に延びる第2補強リブと、を有する、鍵盤楽器である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の鍵を有する鍵盤と、

前記複数の鍵の操作面を露出するようにして前記鍵盤を収納するとともに、前記複数の鍵の後端側で前記操作面よりも高い位置にスピーカの音を前方に放音するための放音孔が設けられている前面部を有するケースと、

を備え、

前記ケースは、前記前面部に連結するとともに前記前面部の後方に延びる第1補強リブと、前記第1補強リブと連結するとともに前記複数の鍵の配列方向に延びる第2補強リブと、を有する、鍵盤楽器。

【請求項2】

前記第2補強リブは、前記第1補強リブの後端部に連結し、前記鍵の前後方向の長さより前記複数の鍵の配列方向の長さが長い棒状のリブである、請求項1に記載の鍵盤楽器。

【請求項3】

前記ケースは、前記前面部における前記複数の鍵の配列方向の異なる位置にそれぞれ連結する複数の前記第1補強リブを有し、

前記第2補強リブは、前記複数の鍵の配列方向の異なる位置に前記複数の前記第1補強リブがそれぞれ連結されている、請求項1または2に記載の鍵盤楽器。

【請求項4】

白鍵と黒鍵を含む複数の鍵を有する鍵盤と、
前記複数の鍵の操作面を露出するようにして前記鍵盤を収納するとともに、前記複数の
鍵の後端側で前記操作面よりも高い位置にスピーカの音を前方に放音するための放音孔が
設けられている前面部を有するケースと、
を備え、
前記ケースは、前記前面部に連結するとともに前記前面部の後方に延びる第1補強リブ
を有し、
複数の前記黒鍵それぞれに対応した位置に複数の前記第1補強リブが設けられている、鍵
盤楽器。

【請求項5】

複数の鍵を有する鍵盤と、
前記複数の鍵の操作面を露出するようにして前記鍵盤を収納するとともに、前記複数の
鍵の後端側で前記操作面よりも高い位置にスピーカの音を前方に放音するための放音孔が
設けられている前面部を有するケースと、
を備え、
前記ケースは、前記前面部に連結するとともに前記前面部の後方に延びる第1補強リブ
を有し、
前記第1補強リブの下部には、少なくともフェルト及び放音部材のいずれか一方の位置
を規制する位置規制部が設けられている、鍵盤楽器。

【請求項6】

前記ケースは、前記複数の鍵の配列方向の異なる位置に前記第2補強リブが複数設けら
れている、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の鍵盤楽器。

【請求項7】

前記ケースは、前記第2補強リブに連結する複数の前記第1補強リブと、前記第2補強
リブに連結しない複数の前記第1補強リブを有する、請求項1乃至3のいずれか一項に記
載の鍵盤楽器。

【請求項8】

前記ケースは、前記スピーカの音を後方に放音するための放音孔が設けられている背面
放音部を有する、請求項1乃至7のいずれか一項に記載の鍵盤楽器。